新時代ビジョン研究会

テーマ・概要　新時代ビジョン研究会は鹿島平和研究所とPHP総研の共同プロジェクトとして、2018年4月からスタートし、各界の第一人者と研究者を招いた研究会の内容を論壇誌『Voice』に掲載し（全17回）、2020年10月には、各研究会の成果と研究会における検討をとりまとめ『日本の新時代ビジョン「せめぎあいの時代」を生き抜く楕円型社会へ』を刊行した。

その後、同プロジェクトでは、楕円型社会の地方における青年経営者による実践例を取り上げ、紹介するため、日本青年会議所の協力を得て「質的価値創造×日本の新時代ビジョン」の特集を論壇誌『Voice』に掲載した（全8回）。それぞれの地域の価値を再発見し、これを磨き、育てていく動きは全国各地に着実に広がり、問題意識を有する若い世代の支持は確実に広がりつつあるものの、研究会としてはコロナ禍もあって、2021年4月以降は活動を休止していた。

一方、政策の動きとしては、2014年にいわゆる増田レポートを発表し、その後の地方創生の流れを作った増田氏等が「人口戦略会議」を2024年初頭に立上げ、あらためて、人口減少社会を警告している。もちろん人口減は日本にとって深刻な課題だが、同レポートに煽られ数ばかりを追いかける現状の政策対応では、自治体による婚活やマッチングサイトアプリなどの弥縫策が増えるばかりで、新時代ビジョン研究会が取り上げてきたそれぞれの地域の価値の再発見

テーマ・概要　にはじまる楕円型社会、日本の競争力につながる本来の価値創造からは遠のいてしまう。
以上のこれまでの研究会の成果と現在の政治や社会の動きを踏まえ、再起動したのが、本研究会である。
具体的な活動としては、全国各地の地方の新聞社等と共に、「楕円型社会」を具体化した事例を研究し、論壇誌『Voice』誌上で発表、これを積み重ねていくものである。政官財学各界の注目を集める論壇誌に、地方の書き手が地方の力や課題について記述する貴重な機会ともなり、日本の課題ともいえる中央メディア偏重を是正する意義もある。複数の事例が積みあげつつ、併せて研究会も開催し、全体としての考察も重ね、政策や社会活動に関する洞察に関する検討も重ねることを目指す。

期　　間　2024年10月1日～2026年9月30日

開催実績　・第3回：地方新聞記者の事例報告・ディスカッション
日　時：2025年9月17日（木）16:00－18:00
ゲストスピーカー：
山下幸紀氏（北海道新聞論説委員）
テーマ：「『君の椅子』をめぐる静かな自治―北海道の町村など」

開　催　実　績　　第４回：地方新聞記者方々の事例紹介・ディスカッション
日　時：2026年３月４日（水）14:00－16:00
ゲストスピーカー：
渡部育夫氏（福島民報いわき支社長兼
浜通り創生局長）
テーマ：「『試練の海』から『希望の海』に―福島県浜通り」

石﨑立矢氏（京都新聞社舞鶴支局長）
テーマ：「人をつなげる『地球のリハビリテーション』―
京都府京都市」

水川恭輔氏（中国新聞社編集委員）
テーマ：「地下の遺構が語る原爆と戦争―広島県広島市」

メンバー

亀井　善太郎　（主査）
PHP総研 主席研究員
立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授

平泉　信之
一般財団法人鹿島平和研究所 会長
株式会社アバンアソシエイツ 顧問

小黒　一正
一般財団法人鹿島平和研究所 理事
法政大学 教授

松本　道雄
一般財団法人鹿島平和研究所 理事
EQT Exter Japan株式会社　EQT Real Estate 日本責任者

末松　弥奈子
株式会社ジャパンタイムズ 代表取締役会長兼社長
学校法人神石高原学園 理事長

御立　尚資
京都大学経営管理大学院 客員教授
公益財団法人大原芸術財団 理事
株式会社熟と燗 代表取締役会長

金子　将史
政策シンクタンクPHP総研 代表・研究主幹
株式会社PHP研究所 取締役専務執行役員